



2022年2月25日
株式会社FUJI

中部国際空港株式会社が発行する 「第10回社債(一般担保付)(ソーシャルボンド)」への投資について

株式会社FUJI(代表取締役社長:須原 信介、以下「FUJI」)は、中部国際空港株式会社(代表取締役社長:犬塚 力、以下「中部国際空港」)が発行する「第10回社債(一般担保付)(ソーシャルボンド)」(以下「本債券」)への投資を実施いたしました。

本債券は、中部国際空港がこれまでも進めてきた3事業(空港事業、商業事業、交通アクセス施設事業)を通じた持続可能な国際拠点空港の運営に取り組み、社会的課題の解決やSDGsの達成に貢献していくことを目的として発行されるものです。

このたびFUJIが投資を実施した本債券の発行による調達資金は、法令に規定される中部国際空港の事業のうち、空港事業、商業事業、交通アクセス施設事業の適格事業に係る新規資金又は借り換え資金に充当される予定です。

本債券は「中部国際空港株式会社ソーシャルボンド・フレームワーク(以下、本フレームワーク)」に基づいて発行されます。本フレームワークは国際資本市場協会(ICMA)が定義する「ソーシャルボンド原則 2021」および金融庁「ソーシャルボンド・ガイドライン」に適合しており、第三者評価機関である株式会社格付投資情報センターからセカンドオピニオンを取得しています。そのため本債券はESG投資の対象となります。

今後も、株式会社FUJIは持続可能な社会の形成に向けた活動を通じて、社会の公器としての責任を果たしてまいります。